

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年1月16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300852		
法人名	池田観光開発 株式会社		
事業所名	グループホーム鶴沼の里	ユニット名	A棟
所在地	〒300-0012 茨城県土浦市神立東2丁目21-22		
自己評価作成日	平成23年5月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年1月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年8月22日	評価確定日	平成23年12月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

①近くに鶴沼があり、遊歩道を散歩でき、自然と触れ合うことができる。②自立支援と明るく家庭的な介護。③無農薬の吟味された食材。④自宅の延長のようなゆったりとした当り前の生活。
--

事業所は家庭的な雰囲気、利用者職員が和気あいあいと会話を交わしているほか、利用者は思い思いの場所でその人らしく過ごしている。 無農薬の食材を使用し、利用者と職員と一緒に食事をしている。 職員は利用者一人ひとりの状態に合わせた形状の食事を提供している。 共用空間や居室は時間を決めて掃除をしたり除菌をするなど、衛生面に配慮している。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	共有し、実践につなげています。事務所とホールに掲示しています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を事務所やホールなど人目に付き易い場所に掲示しており、職員は日々確認するとともに月1回のミーティング時に話し合い、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の運動会やホームでの行事等には、ボランティアさんに来て頂いて、交流しています。	積極的に地域に溶け込むよう努力しており、利用者と職員は市民体育祭や地域の祭り、小学校の運動会のゲームなどに参加している。 利用者は散歩時に地域の人々と挨拶や会話を交わすなどで交流をしている。	認知症の勉強会を地域の人々に向けて開催したり、小学生や中学生の職場体験の受け入れや自治会への加入などで、地域で必要とされる活動や役割を積極的に担っていくことを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の職場体験等などに利用しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催し、意見交換し、活かしています。話し合ったことはサービスに反映しています。	運営推進会議は市職員や介護相談員を含め20人程度で2ヶ月に1回開催している。 会議で出た意見や提案は管理者や職員で話し合い、次回の運営推進会議で経過を報告している。 災害時の備蓄品について運営推進会議で話し合ったことを参考にして準備するなど、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	月1回介護相談が来所し、入居者様の要望を聞いて下さり、質の高いサービス工場に努めています。	市担当者が運営推進会議に参加しているほか、管理者は市の地域密着型連絡会の窓口になっており、市担当者と協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	やむを得ない入居者様に関しては、家族の同意書を頂いて拘束することもあります。身体拘束の経過を記入しています。	身体拘束をしないケアのためのポスターを掲示し、全職員が禁止の対象となる具体的な行為を理解している。 やむを得ずミトンを使用している利用者に対しては、家族等に説明し同意を得るとともに、経過を記録して家族等に報告をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作り、話し合いをしながら、虐待のない様に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書は本社にて十分説明し、理解して頂いてます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置する他家族が来所時には意見等を聞いています。	玄関に意見箱を設置するとともに、重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 家族等の来訪時や運営推進会議で意見や要望を汲みあげ、運営に反映させている。 月1回介護相談員を受け入れ、利用者が意見や要望を出せる機会を設けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の主任者会議、全体会議において意見の交換をしています。	職員が参加する全体会議で出た意見等を月1回の主任者会議で検討し、運営に反映させている。 管理者は職員がいつでも意見や提案を出し易いような雰囲気づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社が対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は自分の休みを利用して受けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	土浦市地域密着型サービス連絡会に参加しており、良い方法を検討している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	努めています。生活歴の中で本人の好きな食べ物などを把握して不安にならないように対応しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に困っていること、不安なことを聞き、安心して生活できるよう対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族と共に納得のいくサービスをスタッフと共に考え、対応しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に学び共に成長して行ける様に対応しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様が来所した折、その都度希望を聞きながら、本人の気持ちを尊重し、支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の友人や知人が面会に訪れた時は、温かく迎え、利用者様と楽しい時間を過ごして頂いてます。	職員は利用者の馴染みの理・美容室への送迎をしたり、利用者が大切にしてきた友人との関係が途切れないよう面会や手紙、電話の支援をしているほか、利用者が自宅へ線香をあげに行ったり、家族等と墓参りに出かけられるよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	穏やかに楽しく生活できるよう配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してからも、相談などに応じることもある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	「その人にとっての安心、」を大切に利用者の希望や思いの把握に努めている。	職員は利用者の話を聴いたり、利用者と一緒に洗濯物をたたんでいる時や食事の準備、後片付けをしている時のほか、入浴中などに利用者が何げなくもらした言葉から思いを汲み取り、申し送りノートやケース記録に記入して全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントや家族に聞き把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人に合った対応に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は心身の状態に変化が生じた時は、見直した介護計画を作成する。	介護計画は個別ノートやケース記録をもとに月1回のカンファレンスで話し合い、医師や家族等の意見を取り入れて6ヶ月毎に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などで特に気付いた時等は、申し送り、又、日々変わる利用者様に於いては、細かく記録する事になっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	誕生会やお花見など外食したり、ドライブに出掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事などでボランティアさんに踊り、歌など協力して頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。月1回の往診と週1回の看護師の来訪がある。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 受診結果は家族等に報告している。 協力医療機関の医師が来訪して利用者全員の健康チェックを行っており、その際にかかりつけ医の受診結果を報告している。 看護師と24時間連携が図られ、夜間の急変時でも対応が可能となっており、東日本大震災では夜間に看護師が巡回するなど利用者の安心につながっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の来訪時に相談しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行なっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族様の意向を確認し、行なっている。全体会議の後に、話し合っている。	契約時に看取りに向けた事業所の対応指針を説明し、利用者や家族等の意向を確認したうえで同意を得ている。 重度化や終末期の支援に向け、管理者による研修を実施して職員の理解を図っているが、年間を通して外部研修や内部研修を計画するまでには至っていない。	職員の認識を深めるため年間の研修計画を立て、計画に基づいた研修の実施を期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命訓練は消防署より受講しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月11日の東関東大震災に於いては、沢山の事を考え話し合っています。	消防署立会いの避難訓練を含め、年2回避難訓練を実施するとともに実施記録を作成して課題を検討している。 東日本大震災では日頃の訓練が役に立ち、職員が連携して利用者に付き添い夜勤を2人体制にするなど、知恵を出し合って利用者の安全を図った。 震災後、職員は話し合いの機会を多く設け、教訓を活かして職員の連携や備蓄整備に取り組んでいる。 近隣住民から水の援助を受けたり、地元のスーパーから食糧やガソリンの援助を受けるなど、地域との協力体制を築いている。 災害に備えてゼリーやパンの缶詰、飲料水、卓上コンロ、ガスボンベ、ビニールシートなどを備蓄している。 避難訓練に近隣住民の参加は得られていないが、協力を呼びかけている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊重を大切にしています。	職員は利用者の誇りを損ねないように、呼び方や言葉遣いに注意をしている。 トイレの入り口にカーテンを設置し、プライバシーを損なわないよう工夫をしている。 利用者の個人情報使用については、家族等から利用目的を明記した提供同意書に同意を得ている。 個人情報に関する書類は事務室に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	誕生会やイベントの時など、化粧やマニキュアを付けています。1ヶ月半に1回のカットを近所の床屋さんに来てもらっておこなっています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に合った食事量、水分の摂取等一人ひとりの状態に応じて支援している。	無農薬の食材を使った食事を作り、利用者と職員と一緒に食べている。 軟らかめの食事やペースト状の食事など、利用者一人ひとりの状態に合わせた食事を提供している。 利用者はできる範囲で食事の下ごしらえやテーブル拭き、後片付けなどを職員と一緒にしている。 誕生会にファミリーレストランなどでの外食を支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲み込む能力のない人には、ペーストにするなど個々の力に応じて対応し、片寄りがない様心がけています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い清潔にしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員は一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間を決めての介助に努めています。	職員は利用者一人ひとりの排泄を記録してパターンを把握するとともに時間を決めてトイレ誘導し、トイレで排泄ができるように支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	年齢と共に、便秘の方が多いため、その人に合わせ、排便が出来るよう支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の体調に配慮しながら、楽しく入浴できるように支援しています。	基本的には1日おきに入浴ができるように支援をしている。 入浴を嫌がる利用者には、時間をおいたり職員を替えて声かけしているほか、入浴剤を入れて窓を開け温泉の雰囲気を出して入浴に誘うなどの工夫をしている。 体調不良の場合は入浴日を変えたり清拭で対応しているほか、夏にはシャワー浴を取り入れたり利用者の希望にそって足浴などを支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	職員は一人ひとりに合った居心地の良い生活習慣に心掛け支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	支援し、確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	年齢が高くなるに従い、お手伝いも無理な人が多く、でも出来る方にはモップ掃除などやって頂いてます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来るだけ多くの利用者が外出するように心掛けている。御家族様とも墓参り、旅行に出掛ける方もいます。	利用者は日常的に散歩をしているほか、自由に買い物や美容院に出かけたり庭でお茶飲みなどをしている。 職員は利用者が季節毎に外出ができるように年間の外出計画を立て、弁当持参で花見などに出かけられるように支援をしている。 家族等と旅行に出かけている利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出した際、100円ショップなどに立ち寄り好きな物を買って支払いこともある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族様よりの電話に出て話したりしています。こちらからからかけることもあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感に合った花など飾ったりして、季節を感じ取って頂いてます。	広い居間には四季折々の飾りや折り紙で作った季節の花の絵が飾られているほか、ソファを設置しており、利用者は思い思いの場所でゆったり過ごしている。 時間を決めて居間を掃除したり除菌するなど、衛生面に配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様がゆったりと過ごして頂ける様ホール中央にソファを置き、談話しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりが居心地の良い居室で好きな写真、誕生日など目に止まる位置に貼って楽しく暮らせる様配慮しています。	利用者は居室に使い慣れた馴染みの物品を自由に持ち込み、自分らしい居室づくりをしている。 洗面台やナースコールを設置して、利用者が安心して暮らせるように配慮をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	レクリエーション時には、皆が楽しめるボール投げ、歌など楽しめるよう工夫しています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	☐ 1, ほぼ毎日のように ☐ 2, 数日に1回程度ある ☐ 3, たまに ☐ 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	☐ 1, 大いに増えている ☐ 2, 少しずつ増えている ☐ 3, あまり増えていない ☐ 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	☐ 1, ほぼ全ての職員が ☐ 2, 職員の2/3くらいが ☐ 3, 職員の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	☐ 1, ほぼ全ての利用者が ☐ 2, 利用者の2/3くらいが ☐ 3, 利用者の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	☐ 1, ほぼ全ての家族等が ☐ 2, 家族等の2/3くらいが ☐ 3, 家族等の1/3くらいが ☐ 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム鶴沼の里

作成日 平成24年1月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	年間研修計画を立てていない。	年間研修計画を作成する。	外部研修、内部研修年間予定計画を立てる。外部研修も進め、内部研修も充実させる。	6ヶ月
2	33	認知症の勉強会を地域の人々に向けて開催したり地域に職場体験の受け入れや自治会への加入ができていない。	地域に溶け込み、必要とされる活動や役割を担って貢献する。	認知症の知識を地域の人々に広めたり、小学生や中学生の職場体験の受け入れを行う。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。